

**平成30年度
アレルギー疾患都道府県拠点
病院モデル事業 報告**

国立病院機構三重病院

①アレルギー疾患患者や家族に対する相談対応

	対応方法	時間	対応者	内容
三重病院	電話 メール	週2回	看護師（PAE） （専門医が指導）	・アレルギー疾患全般の悩み ・とくに、食物アレルギーが多い

三重病院内に設置

専用電話回線

研修を受けた看護師が週に2回、電話相談を受け付ける

小児アレルギーエデュケーター資格および相当する研修

相談に対する回答は専門医（三重病院、大学病院）より得て、フィードバックする

相談内容と回答を記録して、データベースに登録、「アレルギーポータルみえ」のQ&Aページに反映していく

問題点

- ・ 外来への電話相談は多いが、専用回線への相談は多くなかった（1～3件／回）
- ・ 周知をして、増加傾向であるが、まだ十分ではない
- ・ 継続するには、県からの委託事業として、人件費分の予算化を得る必要がある

②地域の医師に対するアレルギー疾患研修会の実施

	内容
三重病院	<ul style="list-style-type: none">・ガイドラインに基づくアレルギー診療の基本を解説したビデオプログラムを作成・インターネットで視聴可能として、短時間でポイントが理解できるようにした・成人喘息、小児喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、アレルギー性鼻炎

「アレルギー診療ネットワークみえ」登録システム

- アレルギー診療情報を発信するホームページ「アレルギーポータルみえ」に、三重県でアレルギー診療を行う医師／医療機関を登録、主訴別にわかりやすく表示する。
- **登録医師の要件**
 - **診療ガイドラインに準拠したアレルギー診療をされること**
 - 登録後は自動更新、2年毎に継続の意思確認
- 拠点病院との病診連携
 - 通常の紹介・逆紹介
 - 次世代病診連携：オンライン診療システムの応用

ガイドラインにもとづく診療を普及させるため

登録状況	
一次医療機関	70診療所
二次医療機関	14病院
三次医療機関	2病院

問題点

- インターネットでの視聴記録をとるシステムとしていない
- 簡単なテストで、理解度を評価する必要がある
- 診療レベルの向上を具体的に評価するシステムも必要

③ アレルギー疾患に対する情報提供

	内容
三重病院	<ul style="list-style-type: none"> アレルギーポータルみえを解説 三重県のアレルギー疾患情報を掲載 疾患情報については、中央の「アレルギーポータル」にリンク
	<ul style="list-style-type: none"> ショッピングモールでの出前セミナーを開催
	<p>「アレルギーポータルみえ」のSNS（ツイッター、フェイスブック）運用 →災害時など適切なタイミングでの情報提供</p>



どんな症状でお困りですか？



アレルギー診療ネットワークみえの医療機関を紹介
(三重県医師会との連携)

• こども健康教室・市民公開講座

行列のできる!!
アレルギー相談所：アレルギーについて学ぼう！

- ショッピングモールで開催 (H31.2.2 イオンタウン津南)
- 体験コーナー
 - スキンケア (あわ作り体験)
 - エピペン
 - 呼吸機能検査
 - 調剤体験
- 相談コーナー：ちょっとした悩みきいてみて
- お楽しみ
 - 白衣試着、バルアート etc
- 公開講座「食物アレルギー」「花粉症」(15分 各2回)
- ポスター展示

平成30年度開催数2回
参加者数のべ約450名

④アレルギー疾患に係る診断等支援

	内容
三重病院	<ul style="list-style-type: none">・ 県内医療機関のとの紹介／逆紹介・ 原因不明のアナフィラキシー診断支援・ 次世代オンライン診療

平成30年度に三重病院アレルギー科に紹介された初診患者は403名

- ・ 中勢伊賀医療圏（三重病院が位置する）144名
- ・ 北勢医療圏167名、南勢志摩医療圏68名、東紀州6名
- ・ 県外からの紹介は18名

原因不明のアナフィラキシーは好塩基球活性化試験など特殊検査を含む診断システムで原因アレルゲンを同定

食物経口負荷試験は、平成30年度に1418件実施

次世代診療ネットワークシステム

